

水分除去装置 TMR-N2

水分除去装置 TMR-N2



TMR-N2

(オプションのヒーターと筐体を付けています)

EPT社の水分除去装置・TMR-N2は、水分を除去することで水分値を低く保つと共に、油の高温劣化によって生成する有害な溶存酸素や可燃性ガスを除去することにより、リザーバー（タンク）内の潤滑油を保護するように設計された製品です。

TMR-N2は、コンプレッサーエアーを用いて97%以上の濃縮窒素（露点 67.8、相対湿度1%未満）を生成します。

TMR-N2で生成した97%以上の濃縮窒素は、潤滑油の上部空間（リザーバーのヘッドスペース）に注入されます。リザーバーを満たした清潔で乾燥した窒素は、リザーバーを通り抜ける間に油中水分と溶存ガスを吸収し、ブリーザーエレメントから放出させます。ヘッドスペースを窒素で封止する方法とは異なり、TMR-N2運転中は一定の窒素の流れを作り続けるので、水分と有害な溶存ガスを除去し続けます。

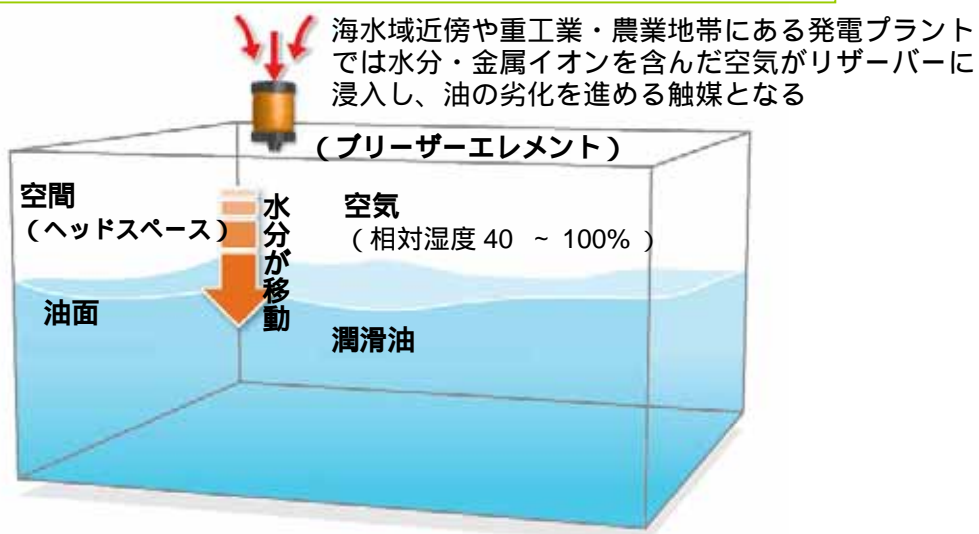
TMR-N2を設置することで、自由に外部から空気が入り込む従来のリザーバーの流れ（次ページの図参照）が変わります。空気は、潤滑油の分解劣化に大きな影響を及ぼす汚染物の主な要因です。

自由に空気が入り込むリザーバーでは、周囲の空気中に含まれるあらゆる汚染物質が浸入してきます。海水域に近い環境や重工業・農業地帯で稼動する潤滑油や油圧作動油のリザーバーでは、空気中から油の分解を促進する触媒となる溶解性金属イオンが侵入して蓄積する可能性があります。TMR-N2を設置したリザーバーは、これらの有害な汚染物質の侵入を防ぐため、潤滑油の寿命を延ばすことが出来ます。

主な利点

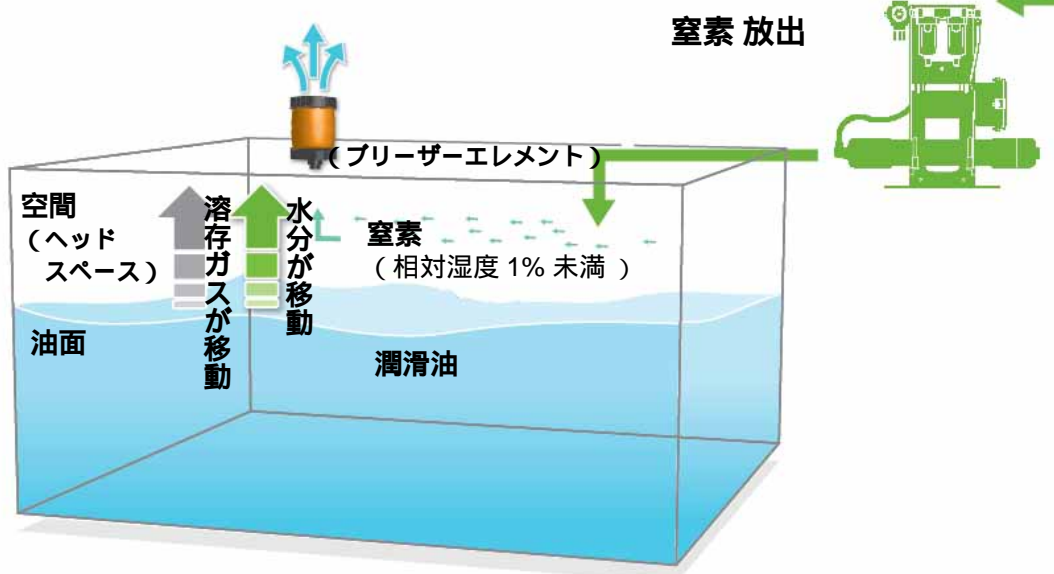
- ・ 最適な水分値を維持 鋳物油は 50ppm 未満、EHC 油は 200 ~ 500ppm を維持
- ・ 油面上部に安全な窒素バリアー 外部からの汚染物質の侵入を防止
- ・ 油中酸素や有害溶存ガスを低減 可燃性ガスの発生・油の分解を防止し、油の寿命を延長
- ・ 酸化の可能性を低減 潤滑油の酸化防止剤を保護
- ・ 低いイニシャルコスト
- ・ 低いランニングコスト メンテナンス不要（2つのエアフィルターを年に一度交換するだけ）

TMR-N 2 使用前 : 自由に外部空気が入り込むリザーバ



空気 吸入

TMR-N 2 使用後 : TMR-N 2 を設置したリザーバー



株式会社 プラントサービス
〒650-0031 神戸市中央区東町116-2
TEL:078(334)0211
FAX:078(334)0210
E-Mail: service@aps-jp.com